

西郷村の人口及世帯数
(43.5.1現在)
世帯数 2,180
人口 10,616
男 5,222 女 5,394



発行日 昭和43年5月30日

発行所
西郷村役場
電話(磐城熊倉)
1番・2番・7番
編集発行人
企画課長 坂井周平
印刷所
ワタベ印刷所

文化財調査は進む

見直そろ村の史蹟 村は縄文遺跡の宝庫

明治百年を記念して今年村史編さん事業の最初の成果を発表することは村長の年頭のあいさつにもありました。公民館の方で現在その作業はすすめられております。又一方では更に古い遺跡の調査を進めていますが、去る五月十一日には東京大学等から専門の先生方を招いて文化財委員会の調査が進められ多大の成果が収められました。くわしい事はいずれまとめて発表されることと思いますが、ここにその概要をお知らせしましょう。

当日はまず公

民館で、高久喜

正氏の集収した

土器、石器等を

中心にして検討

がなされまし

た。集収品の数

量も多かつたの

ですが集収され

た場所をはつき

りさせて整理さ

査

の「つぼ」

写真下

新甲子村火に

おける遺跡調

査

れていた事が非常に役に立ち大きな成果を収め先生方のおほめにあざかりました。続いて真名子から羽太方部新甲子、追原鶴生山下と実地調査が行なわれ、貴重な集収品をたくさん得る事ができました。

調査の結果、大きづばにいつ次のようなことが明らかにされました。

まず西郷村は縄文遺跡の

宝庫だということです。今

から三千年前頃狩猟を主体

として生活する先住民が、

村の山すそやくぼ地の水の

湧き出る所には至る所に住

みついていたらしく、縄文

中期後期を中心にして、た

くさんの石器、土器が発見

されます。それ以前の縄文

前期のものもわずかですが

見出されます。やじりや魚

をとる網につけるおもりも

発見され、けものや魚がた

くさんとれた事が想像され

ます。

所が稻作を中心とする弥生時代になりますと、西郷は米は作りにくかつたらしく、弥生式のものは平地でわずかしか発見されていません。ただ不思議なことに新甲子のゴルフ場の上の村有地から弥生式の土器がかなり発見されたことで、こ

こでは何か米作り以外の事で生活していた人があつた事が想像されます。

更にもう一つの特徴は村内至る所にカナゴ石の小山

があり、中から製鉄に使つたふいこの先の土器が出て

来ています。これを見ます

と西郷は昔大製鉄所であつたらしく、大学の先生方も驚いていました。一体いつどこから鉄鉱石を持って来て、どんなふうにして鉄を作つたのでしょうか。不思議なことです。

村のことをいろいろ調べて行きますと不思議なことがたくさん出て来ると同時に村に住んでいた昔の人のいのちを感じさせられます。みなさんもいろいろ発見されましたが、発見された場所をはつきりさせて、公民館までご連絡下さい。



